

原町第三小学校便り

令和6年度第1号（4月号）
文責：原町第三小学校長 林 典行

目標あってこそ、努力・協力

校庭の桜、木々の新芽、花壇の草花等から感じられる春の息吹は、子どもたちの新たなスタートを応援してくれている、そのような気持ちになってきます。お子さまのご入学、ご進級おめでとうございます。

令和6年度、本校は、1学年75名3学級、2学年61名2学級、3学年81名3学級、4学年69名2学級、第5学年67名4学級、第6学年49名2学級、特別支援学級4学級、合計402名18学級でスタート

しました。子どもたちは、新しい学年、学級での学習や生活に希望といくらかの不安を抱いて、入学式、始業式を迎えたことと思います。私たち教職員は、そのような子どもたちの思いをしっかりと受け止め、子どもたちにとって充実した生活を送ることができる学校となるよう、教育活動を進めてまいります。

始業式において、子どもたちに、充実した生活を送るために何が必要かということについて問いかけました。様々なことが思い浮かびますが、まず、「目標」を持つことが大切です。「目標」があってこそ、それに向かって人間は努力するし、みんなで協力する方向性が見えてくるのだという話をしました。学習だけでなく、スポーツや音楽等、自分自身で目標を見つける場こそが学校の存在意義のひとつであると考えます。

そのために、ご家庭においても、しっかり意識していただきたいことがございます。それは「早寝・早起き・朝ご飯」です。このところ、生活リズムの乱れを感じるお子さんが散見され

ます。そのような乱れは、学習意欲や体力、気力の低下とも密接に関係しています。小学生の年代では最低でも10時間の睡眠が必要だと言われています。十分な睡眠をとり、朝ご飯をしっかり食べる生活習慣こそ、子どもたちが充実した生活を送るための基盤として欠かせないものです。

本年度も子どもの教育に携わる者（学校・家庭・地域）が共通の認識にたち、子どもの指導・助言・支援に当たることができるようご協力の程よろしく申し上げます。

